

地域防災計画に「住民の声」をどのように反映されたのか



質問者
鈴木 眞徳 議員

東日本大震災を教訓

に、災害に強い長期的な町づくりを進めている時に、台風26号の集中豪雨で伊豆大島は大規模な土砂災害によって、多くの財産と尊い生命を失いました。安心・安全な町づくりは緊急課題であると痛感しております。そこで、昨年6会場で防災をテーマに実施した町民懇話会での「住民の声」について、この3月に改定された地域防災計画にどのように反映されたのか。また、次のことはどうなっているのか。

① 具体的な自助・共助・近助と災害対策本部との連携について

② 防災マップを全世帯配付するようについて



A 自主防災会に防災行政無線を配備

回答（町長）

① 自治会長連絡協議会と、防災訓練等の話し合いを行った。自主防災会と災害対策本部との連絡手段の確保を強く要望さ

れたので、地域集会施設に特設公衆電話を設置し、防災訓練で被害状況の報告に活用した。また、各自主防災会に防災行政無線を1台ずつ配備することになったので、機器に早く慣れていただくため、定期的な訓練を実施していきたい。

② 避難所に指定している地域集会施設は、場所によっては洪水や土砂災害などの時には使えない。自治会長と調整して、災害時に避難所の指定を検討しなければいけないので、マップの配布は、これらのことが解決した際に予算措置をさせていただきます。



防災訓練



災害復旧後の根石農道

本山町長初の議会・第2回臨時会 第3回臨時会にて副町長選任

平成25年第2回臨時会の会期は10月17日（木）の1日で、本山町長は初めての議会のため行政報告の中で所信表明を行いました。また、議案等3件の補正予算の審議を行い原案のとおり可決し閉会しました。

一方、第3回臨時会は「副町長の選任について」を審議するため11月22日に開催しましたが、町側の手続きに不備があったことから欠席議員が過半数となり流会となりました。よって、再度11月27日に開催し「副町長の選任について」を原案のとおり同意し閉会しました。

第2回臨時会

● 専決処分の承認を
求めることについて
（寄簡易水道事業特別会計補正予算・第1号）

9月に発生した台風18号で農林道等に被害を受けたため、早急に災害復旧するものです。

審議の結果

以上3件の議案等を審議し、賛成全員で原案のとおり承認・可決しました。

第3回臨時会

● 専決処分の承認を
求めることについて
（寄簡易水道事業特別会計補正予算・第1号）

9月に発生した台風18号で宇津茂地内配水設備に被害を受けたため、早急に災害復旧するものです。

● 副町長の選任について

空席となっていた副町長に、賛成全員で次の方を選任同意しました。

● 平成25年度松田町
一般会計補正予算・
第4号

合併処理浄化槽整備費補助金や同報無線中継局アンテナ改修工事等を行うものです。

氏名 鍵和田毅志氏
略歴 松田町総務部長・収入役・神奈川大学経済学部卒・神山在住・68歳